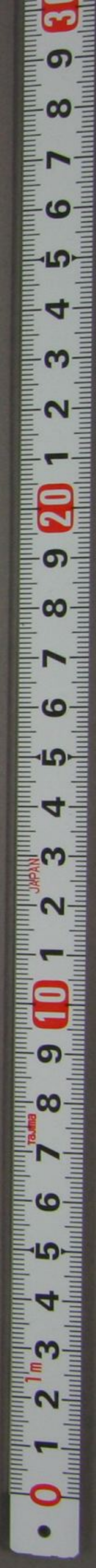


在邦國日本公使館

巴里在留公使朝吉書
第廿四日



114
A 98



報

古書第二號

佛國共和政治ノ略記
曰國憲法概畧

附訪者姓名人名

大博覽會ノ事

大正十一年四月
限侯爵邸寄贈

在佛國日本公使館

佛國共和政治ノ概要

千八百七十四年ノ頃迄ハ佛國人民ハ皆共和政治ヲ以テ當分ノ事ト思ヒ居タリニ今ヤ現今ノ政体ヲ以テ稍満足シタル者ノ如シ斯ク人心ノ变换セシ景況ヲ知ラントセハ先ツ古來政治上ノ沿革ヲ鑿ミサルヘカラス抑仏國ノ共和政治ハ已ニ三回ニシテ即チ一回ハ千七百九十二年九月ニ始リ十二年ノ後チ一回ノ帝政創立ノ時ニ終リチ二回ハ千八百四十八年二月ニ始リ五年ノ後チ二帝國再興ノ日ニ終リ又チ三回ノ共和政治ハ千八百七十年九月ヨリ始リ今ニ至ル迄殆ト八年ヲ閱

レタリ

才一回ノ共和政府ヲ創立シタルハ即チ仙國大革命ノ時ニシテ人民等數百年間君主擅斷ノ下ニ束縛セラレ且貴族ノ壓制ヲ受タル後ニ付一般ニ齋ク抵抗カヲ起シ竟ニ王國政府ヲ倒シタリ然レ其結末ハ騷乱ノ世界ト為リテ之カ為メ公衆ノ需要ヲ補足シタルニモ非ス又社會ノ幸福ヲ増加シタルニモ非ス只寧安ヲ妨害シタルノミ千八百四年ニ至リ此共和政府ヲ倒シ之ニ代フルニ帝國政ヲ以テシオ一ナホレオン帝位ニ即ケリ而シテ共和政黨ハ殆ト其跡ヲ絶チ人々皆帝國ノ新政ヲ喜ハサル者ナシ其後共和政論ハ漸次ニ萌生シタレレ帝國ノ時代ニ尚隱伏シテ顯ハ

レスバールボン王統復古ノ後路易非王ノ時其黨追々増加シ千八百四十八年ニ至リ王家ノ衰微ニ乘シ其論理ヲ主張シ竟ニ國王ヲ放逐シ才二回ノ共和政府ヲ起シタリ然レ此共和政治ハ又大ニ人民ノ騷乱ヲ醸シ共和政治ト云ハ猶乱暴狼藉ト云カ如キ勢ニ至リタリ

千八百五十二年才二回帝國政治ヲ布告ノ時人民ハ共和政治ヲ以テ政畧上ノ妨害ノミナラス社會實際ノ禍ヲ為ス者ナリト思ヒ居タルニ付新帝政ニ依リ以テ共和政体ヲ流毒ヲ免カレンヲ希望シ依然トシテ新令ヲ奉シタリ然レ共和政黨ニテハ漸次ニ力ヲ蓄ヘ他日改新ノ業ヲ作コサントシ陰ニ時機ノ至ルヲ待居タ

リレニ才三世ナホレヲシテ獨逸兵ノ為メニ擒セラル、
ニ及テ亦三面ノ共和政府ヲ立タリ此時人民一般
ニ共和政治ヲ以テ立君政体ニ勝ル者ト信用シ
タルニハ非サレトモ當時共和政治ノ外ニ實際行ハ
ルヘキ政体ナキニ依リ不得止共和政府ヲ立
タリ然レトモ人民等之ヲ以テ予安ニ至ルヘキ完良
ノ結局トハ信セス昔年ノ如キ共和政治ノ慘禍
ヲ又現ニ目撃スルコトアラシク思レタリ王政党ハ
速ニ好機會ヲ得テ共和政府ヲ顛覆セント希
望シタレトモ黨派衰弊且分離ノ為メ共和政治ヨリ
勝タル政体ヲ設スヘキ方法ナクシテ空ク年月
ヲ送レリトモ上今ヲ去ル四年前ノ國勢ヲ述フ然ニ今ヤ一般ノ人心
大ニ變シ現今ノ政府ヲ以テ善良ノ政府ナリト信

用スル者多ク殊ニ中和ノ王党ハ稍之ニ同意シ帝
家王家ノ回復ヲ望ムコト切ナラザルニ至レリ蓋シ是
レ王統衰微シテ王位ニ即ヘキ有望ノ人ナキト共和
政治ノ針路平穩忍耐ノ方ニ向ヒ過激粗暴ノ行
政次第ニ減少シ專ラ保護謹慎ヲ主トスルトニ
依ルナラン
人民ノ情態ハ尚立君國ノ如キ有様ヲ免レズト雖モ
年々ニ共和政体ニ慣レ前年ノ如キ粗暴ノ氣
象ハ全ク顯ハレス而シテ帝王再興ノ機運ハ大ニ
衰損シ兩議院ニ於テモ帝王ノ再興ヲ望ム者
減少シ殊ニ元老院ノ如キハ明年議官撰擧ノ
後ハ其ニ論共和政治ニ敢セントスルノ勢アリ果シ
政府ハ今日ノ目的ヲ變セズ亦予安保護ノ途ニ

在佛國時本入使館

進マハ、憲法ニ依リ人民ノミナラス、歐洲一般ノ信用
議員ヲ得テ以テ永ク共和政体ヲ維持スルヲ
得ヘキナリ

佛蘭西共和政府憲法ノ大畧

日今ノ憲法ハ千八百七十五年二月十五日公布
シタル者ナリ

立法ノ權ハ元老民撰、兩院ニ屬シ而大
統領ハ行政ノ首長タリ

元老後員總斗三百名トス内二百二十五名ハ
佛國及各行府屬地ノ各州ヨリ撰挙セラレ七
十五名ハ初度ハ公會ニテ撰ハレタル者ナレモ今
後缺員ノ節ハ元老院之ヲ撰ムル各州ヨリ

撰出ノ後員在職ノ定限ハ九年ニシテ三年毎ニ
後員ノ三分一ツノ退職シ又元老院ニ命セ

ラレタル七十五名ハ終身ノ奉職トス
仙國人民ニシテ年齢四十歳已上ノ者ニ非サレハ元

老後員タルヲ得ス
民撰後員ハ總斗五百廿二名トス各郡ヨリ名

代人トシテ一人ツヲ撰挙シ若シ一郡ノ人口十

萬ニ過ルトキハ十萬毎トニ別ニ一人ツヲ出シ且

十萬ノ外ニ端數アルトキハ又別ニ一人ヲ撰挙
ス

後員ヲ投票スル者ハ佛國人民タルノ權理ヲ有シ
年齢二十一歳以上ノ者ニ限ル又後員ハ仙國
人民ニシテ二十五歳以上ノ者トス

兩院トモ毎年大統領ノ特命アルニ非サレハ一月
ホニ、火曜日ニ集會スヘシ而シテ必クモ五ヶ月
間集會期限トス尤開閉ノ期日ハ兩院同
時タルヘシ

後院ノ開鎖ハ大統領ヨリ之ヲ公告スヘシ大統領
領ハ臨時開院セレムルノ權ヲ有ス若シ兩院
ニ於テ各從後員ノ半數ヨリノ請求アレハ大
統領ハ臨時從後員ヲ召集スヘシ又大統領
ハ開院中休會セシムルヲ得ヘシト雖一ヶ月
ヨリ超スヘカラス且一ヶ年内ニ休會ヲ命スル
ニ度ニ過クヘカラス

後案ハ兩院ニ之ヲ出スヲ得ヘシ然レ會斗ニ突
スル法案ハ必ス先ツ民撰後院ノ之論ニ付スヘシ

兩院ノ後員ハ何レモ定額ノ俸給ヲ受クヘシ
千八百七十六年元老院ノ經費四百五十万佛
民撰後院ノ經費六百七十七万五千佛ニシテ合
計千百五拾七萬五千佛ナリ

大統領ハ元老民撰兩院ノ公會ニテ投票權
定セラレタル者ニシテ在職期限ハ七ヶ年ト定ム

然レ滿期、後復タ公撰セラレヨク得ヘシ
大統領ハ兩院トモ立法ノ權ヲ有ス而シテ兩
院ニテ決定ノ法ハ之ヲ公布シ且之ヲ施行ス
ルヲ掌ル又罪人ヲ特赦スルノ權ヲ有シ海
陸軍ヲ統轄シ諸省長官及文武官員ヲ
命スルヲ掌ル
大統領ノ布告ニハ必ス各省長官ノ加名アル

在佛國日本公使館

へし

大統領ハ元老院日意ノ上ハ民撰後院定期
内ト雖臣之ヲ閑鎖スルヲ必ヘシ

諸省長官ハ兩院ニ對シ政府ノ施政并生省
ノ行事一切ノ責ニ任スヘシ

大統領先立去或ハ其他ノ事故ニ依リ缺員アルト
キハ兩院後院ニ於テ速ニ新統領ヲ撰奉スヘシ

大統領 マレシヤル マクマホンハ千八百八十七
月十三日サヲ又エロアル州ニ生レ千八百二十五年

兵学校ニ入り二十九年陸軍中尉ニ任セラレ
大尉ヨリ佐官ニ累進シ五十二年中將ニ奉

ケラレ五十五年セバストポールノ役軍團指揮
長官ト爲リ五十七年總督ト爲リテアル也

リニ出張シ五十九年アルポ部亦二軍團指揮

長官ト爲リ同年マシヤコタノ軍功ニ依リテマ
ジヤコタ侯ノ爵ニ進シ六十一年亦二軍團指

揮長官ト爲リ六十四年アルゼリ鎮基總督
ニ任セラレ七十年佛獨ノ戰ニ亦一カ五軍團總

督ト爲リセガンニ於テ囚ト爲リ七十一年ウエルサイ
工部軍團總督ト爲リ七十三年九月大統領

領ニ撰ハラレ同年十一月更ニ七年ノ在職ト
定メラレタリ

大統領ハ年給六十萬佛外ニ雜用トシテ三
十萬佛ヲ受領ス

諸省長官ハ大統領ヨリ命セラレタル者ニシテ
九人アリ即如左

司法卿 兼 参 后 长 じつろル氏

右 曾 子 工 部 卿 内 務 卿 司 法 卿 亦 任 せ 拉 レ

昨 十 二 月 改 革 ノ 時 更 々 当 官 任 せ 之 續 年 八 十

内 務 卿

ド マ ル セ ル 氏

右 曾 子 内 務 卿 任 せ 拉 レ 昨 年 改 革 ノ 時 更 々

前 官 任 せ 拉 レ

大 藏 卿

レ フ シ セ ル 氏

右 曾 子 巴 里 府 知 事 又 大 藏 卿 任 せ 拉 レ 昨 年

改 革 ノ 時 更 々 前 官 任 せ 拉 レ 年 五 十 一

農 商 務 卿

テ リ ス ラ シ ト ボ ル 氏

右 曾 子 当 官 任 せ 拉 レ 昨 年 改 革 ノ 時 更 々 前

官 任 せ 拉 レ

外 務 卿

ワ ジ ン ト ン 氏

右 若 人 子 ニ シ テ 仙 國 之 由 化 之 曾 子 後 員 ト

為 リ 又 文 部 卿 任 せ 拉 レ 昨 年 改 革 ノ 時 当

官 任 せ 拉 レ タ リ 年 五 十 二

工 部 卿

ト フ レ イ シ 子 氏

右 昨 年 改 革 ノ 時 当 官 任 せ 拉 レ タ リ

文 部 卿

ハ ル ド ウ 氏

右 昨 年 改 革 ノ 時 当 官 任 せ 拉 レ タ リ

陸 軍 卿

セ 子 ラ ン ボ ル 氏

右 昨 年 改 革 ノ 時 当 官 任 せ 拉 レ タ リ

海 軍 卿

中 将 ホ ツ ツ ヲ 氏

右 曾 子 海 軍 少 将 中 将 ニ 進 ミ 續 テ 海

軍卿ハ
継ケリ
昨年改革ノ時更ニ前官ヲ

以下次号

大博覧會ノ事

毎日入場ノ人實平均凡八万人餘ナリ

日本出品益評判宜ク一週間ノ賣捌約定萬凡五万フランク許ナリ

大博覧會ニ陳列ノ物品ヲ大別シテ九大區トス其綱如左

- | | |
|---------|----------|
| 第一 美術 | 第二 知學教 |
| 第三 家具 | 第四 織物衣服 |
| 第五 採拓工業 | 第六 機械工業 |
| 第七 食用品 | 第八 農業及鯨魚 |
| 第九 園藝 | |

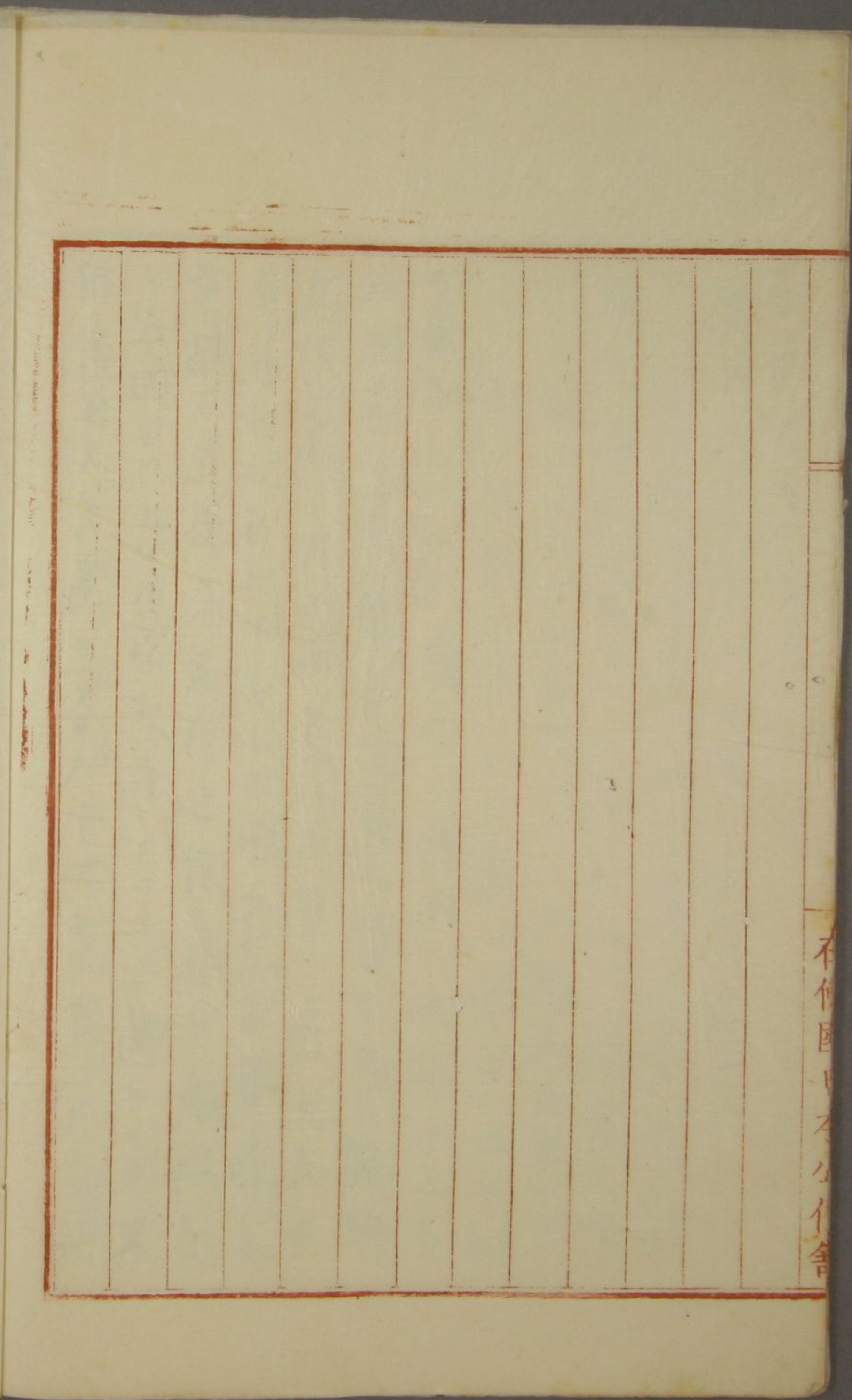
右九大匠ヲ各小別シテ數小匠ニ分ツ小匠ノ

数總計九十アリ

會場ハ「セーヌ」河ヲ挾ミ其南岸ヲ「シヤンド
マルス」北岸ヲ「トロカデロ」ト云フ「シヤンドマルス」會
場ニ「第一大區」ヨリ「七大區」マテノ物品ヲ陳
列ス館ノ長サ七百六「メートル」幅三百五十「メー
トル」故ニ其形チ方ニシテ長シ平方ハ二十四
万七千「メートル」南北ノ兩端ニ大廊アリ其
西隅ニ「各錢製」ノ高樓ヲ建ツ但シ北廊
ハ其中央ニモ樓アルナリ

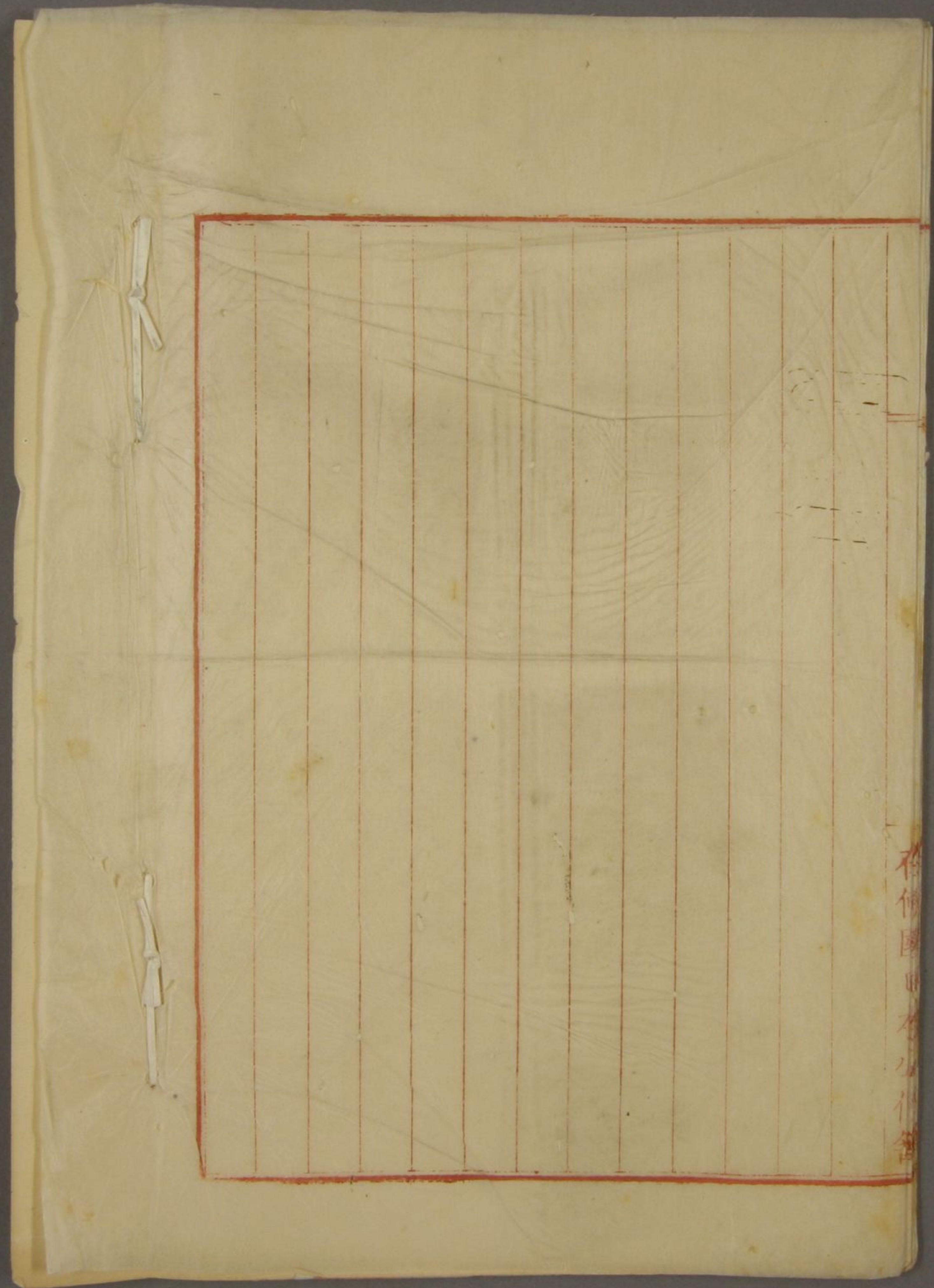
「トロカデロ」ハ「シヤンドマルス」ノ正門ニ面シテ四形
ノ堂アリ之ヲ本館トス開場中諸式ヲ行
フノ所トス其高サ五十「メートル」中ニ「六千」ノ
入ヲ容ル「ト云フ」本館ノ上ニ高樓アリ左右ニ

相對立ス其高サ各八十二「メートル」「セーヌ」河
ノ水面ヨリスレハ百十三「メートル」ノ高サアリ又
本館ノ左右ニ「其形」弧月ノ如キ長廊アリ
各長サ二百五十「メートル」之ヲ古器物ノ
陳列場トス其外第一大區ノ養魚及第一
九大區ノ園藝等ハ皆「トロカデロ」ノ園中
ニ在リ以下次号



山... 國... 一... 山... 山... 山...

不... 何... 國... 一... 山... 山... 山...



卷之四